はだの文化通信 vol.5 2023.4
企画 クアーズテック秦野カルチャーホール指定管理者 ㈱タウンニュース社
harmonia ハルモニア

秦野の〝文化拠点〟徹底解説

クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市文化会館）は、秦野が誇る文化芸術の発信拠点。大ホールでは定期的に著名人の公演やコンサートが行われ、小ホールや市民広場でも個人・団体を問わず様々な用途で使われている。

同館は市民の文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に1980年11月1日に開館。例年「成人の日」には市主催の式典が大ホールで開催される他、演奏会、映画上映、地域の学校のコンクール、バレエの発表会等に使用され、恵まれた自然環境のもと豊かな感性を育むカルチャーホールとして市民に長年利用されてきた。

施設の要は大小2つのホール

同館大ホールでは、著名人の公演も定期的に行われている。近年では、『情熱大陸』を作曲した葉加瀬太郎さんのクラシック公演、紅白歌合戦出場経験のある森山良子さんのフォーク公演、山本恭司さん率いるBOWWOWのロック公演や神奈川フィルハーモニー管弦楽団による演奏会等、多様なジャンルの公演が開催された。小ホールでは、ピアノやヴァイオリン・太鼓といった和洋楽器のコンサート、カラオケ大会等市民団体の利用も多いという。

より良い施設を目指して

「秦野市文化会館」として親しまれてきた同館に、ネーミングライツ（命名権）で「クアーズテック秦野カルチャーホール」の愛称が使われるようになったのは2019年10月1日から。秦野市文化会館のネーミングパートナーに、市内曽屋に事業所を置くクアーズテック株式会社から応募があり、2024年9月30日までのネーミングライツ契約でこの愛称が決定した。

また、2022年4月1日からは、民間の力を借りてサービスの向上と経費の節減を図り、効果的・効率的に施設を運営するため、タウンニュース社を代表企業とする地元共同事業体が指定管理者として施設の運用を担っている。

同館は、市と事業者が協力しながら、より愛される施設を目指して日々進化しているのだ。

クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市文化会館）

所 在 地：秦野市平沢82
敷地面積：18,705.41平方メートル
建築面積：5,415.21平方メートル（延床面積8,250.23平方メートル）
構　　造：鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄骨造、地下2階、地上3階
開　　館：1980年11月1日

多種多様な公演を担う

大ホールの秘密とは？

出演者と観客の距離を近くで捉えることができるワンスロープ型の大空間―。ここでは、クアーズテック秦野カルチャーホール大ホールの魅力を紹介する。

大ホールの収容人数は1455人。固定席1405席（オーケストラピット使用時減132席）、移動席42席、車椅子席8席の内訳だ。オーケストラピットは、客席前部分を取り外し、客席を減らすことで舞台を広くする設備のこと。主にバレエ公演などでオーケストラが演奏をする場所になる。現在はオーケストラピットを電動で動かすことができる施設も多いが、同館ではスタッフが手作業で行っているという。

残響時間2・0秒

同館大ホールの最大の魅力は、2・0秒の残響時間にある。残響時間とは、簡単にいうと音が響いている時間のこと。用途や目的によって適切な残響時間は異なるが、一般的に「コンサートホールにおける理想の残響時間は2秒」といわれているそう。例えば、「世界最高峰」と名高いサントリーホール（東京都港区）大ホールの残響時間は、満席時・中音域で2・1秒だという。クアーズテック秦野カルチャーホールの大ホールは、豊かな響きを楽しむことができるよう設計されているのだ。

観客のニーズに応えた座席を

大小の両ホールには、車椅子のまま公演を楽しむことが出来る「車椅子席」がある。会館敷地内のスロープから車椅子で1度も降りることなく、ホール内の席に入ることが可能だ。さらに、大ホールには小さな子どもと一緒に観覧ができる「親子室」の用意も。ホールには、多くの人が共に楽しめる工夫が施されている。

地元画家のデザイン取り入れ

客席から舞台を隠すための幕である緞帳。これにも秘密があり、大ホールの緞帳「緑と太陽の讃歌」は地元ゆかりの画家・宮永岳彦が手がけたもの。宮永は秦野市にアトリエを構えていた画家で、小田急線初代ロマンスカーのカラーデザインや「ぺんてるクレヨン」の男の子と女の子のイラストを手がけている。同じく、小ホールの緞帳も宮永のデザインで、「希望の窓」という名前が付けられている。

このように、同館のホールは各公演に対応できる設備を備えつつ、観客の使いやすさも追求した魅力ある施設だ。

大ホール

大ホール親子室

大ホール

■収容人数
・固定席1,455（オーケストラピット使用時 減132席）
・移動席42 ・車椅子席8 ※その他、親子室8席
■舞台
・間口20m 高さ8m 奥行16m
・オーケストラピット（100.65㎡、エレベータ機構）
・回り舞台（直径12m） ・残響時間（2.0秒）
・緞帳2、絞り緞帳1（5変形）、音響反射板等吊物41本

小ホール

■収容人数
・498人（ワンスロープ形式） ・固定席493 ・車いす席5
■舞台
・間口10m 高さ5.5m 奥行8m
・緞帳1、絞り緞帳1（定形）
・音響反射板等吊物18　・残響時間1.5秒
■その他
・映写設備（16m/m） ・人形劇用ピット

小ホール

クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市文化会館）公演ガイド

スペシャル!! 大好評！地域交流イベント 1周年記念！
サタデーフェスティバル
家族と、友達と1日楽しめます♪
5月6日 土 10:00～16:00
◆入場無料　◆地元団体の演奏・パフォーマンス（大ホール）、手作り品販売（大ホールロビー）、手作り体験会（管理棟会議室・参加費実費）を実施　◆大ホールでは、午後1時からLUNA　SEA真矢さんの「ふるさと大使任命書授与式」とライブパフォーマンスも。大ホールへの入場券となるリストバンドを午前9時から配布。予定数に達し次第配布を終了（午前8時30分以前の来館はご遠慮ください）。

0歳から入場OK！ ベビーカーOK！
Lunch Time Concert
ランチタイムコンサート
～トリオ・ダンシュの世界～
予約制 限定30名

©Hideyuki Okuda
松田 康治（クラリネット） 松尾 純（ファゴット） 弘瀬 麻子（オーボエ）

2023年 5月24日 水
入場料 一般 3,500円
小学生以下 1,500円（軽食&1ドリンク付）
※2歳以下無料
会場 2階 レストラン隣室
開場 11時
開演 11時30分
終演 13時予定

チケットのお求め・お問い合わせ　窓口販売　クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市平沢82）　TEL 0463-81-1211

※感染症拡大防止のため、ご来場の際は検温のご協力をお願いいたします。　※未就学児のご入場は保護者ご同伴の場合でもご遠慮いただいております。